

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

事務事業名		農村環境改善センター管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020203000644
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						生涯学習課	
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						生涯学習課	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	
手段名		O3 ③生涯学習・文化施設の活用						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (令和 3 年度~)			
01 10 05 02 04 00		羽黒改善センター管理事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		桜川市農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例 桜川市農村環境改善センター管理及び運営に関する規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市農村環境改善センターの維持管理及び貸館業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は4月より、行政専門員2名、会計年度任用職員5名(うち、夜間2名)が勤務 ・休館日は、月曜日、祝祭日、年末年始(12月28日から1月3日) ・利用時間は、午前9時~午後10時(開館は午前8時30分) ・申請の許可、スケジュール調整、業務委託契約、修繕、伝票起票等を主な業務とする ・令和3年11月からは、岩瀬中央公民館の閉館に伴い、その代替え施設的な運営をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸出、利用料金の徴収(随時) ・施設及び設備の管理及び不具合の対応(随時) ・施設消耗品等の維持管理(蛍光灯交換等・随時) ・施設及び敷地内の清掃、美化作業等(随時) ・申請の許可、スケジュール調整、業務委託契約、修繕、伝票起票等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
委託業務維持管理締結。 施設使用許可申請受付・調整・使用料徴収・入金。 関係団体等年間利用予定依頼、貸し出し計画の調整。 清掃・修繕等施設の維持・管理業務。	維持管理委託件数	件	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
農村環境改善センター及び市民。	センターの面積	m ²	760.00	760.00	760.00	760.00	760.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
コミュニティ活動及び文化交流の場として良好な状態で施設を管理運営すると共に、大いに市民に利用してもらい、生涯学習活動を推進する。	利用件数	件	434.00	1,131.00	1,000.00	7,000.00	500.00
	利用者数	人	5,845.00	13,313.00	13,000.00	10,000.00	7,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	03年度(実績)	04年度(実績)	05年度(計画)	06年度(目標)	07年度(目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	229	556	600		
	その他	千円	13	76	70		
	一般財源	千円	2,908	9,816	11,022		
	事業費計(A)	千円	3,150	10,448	11,692		
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

04年度事業費 実績(千円)

05年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	04年度事業費 実績(千円)		05年度事業費 予算(千円)	
	04年度(実績)	05年度(計画)	05年度(計画)	06年度(目標)
01 報酬	3,259		4,380	18 負担金補助及び交付金
03 職員手当等	414		531	8
07 報償費	178		374	
08 旅費	126		126	
10 需用費	1,931		3,434	
11 役務費	114		292	
12 委託料	1,080		1,205	
13 使用料及び賃借料	764		781	
14 工事請負費	2,574		531	
18 負担金補助及び交付金	8		30	
	合計	10,448	合計	11,692

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座開講5講座,自主講座開講43講座,一般利用随時。 ・生活実習室修繕(襖、障子、畳) ・男子トイレ改修(小便器自動洗浄化、サッシュ枠),多目的トイレ入 口改修 ・駐車場枠増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座開講4講座,自主講座開講45講座,一般利用随時。 ・ポスター類掲示パネル設置,調理実習室エアコン改修。 ・駐車場外灯塗装改修。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座開講4講座,自主講座開講45講座,一般利用随時。 ・建物大規模改修開始。

事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業	事務事業No.	20203000644	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
農村環境改善センターは、平成6年に竣工し、当初は主に周辺農業従事者及び一般市民の利用に寄与してきた。また、付近の市民が利用できる公共施設がないため地域の方々に喜ばれている。 令和3年10月からは、中央公民館の代替施設として、各種講座が毎日のように開講されている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
中央公民館の代替施設としての利用が始まってから、それ以前より利用団体が増え、希望をした日に利用ができないといった事案が生じている。（今のところ不満の声は上がっていない）このようなこともあって、新施設の早期の着・竣工を望む声が上がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習・文化活動の場としての役割を担っており（中央公民館の代替施設としても）結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公共施設の利用促進、及び維持管理事業であり、妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 多くの団体が利用しており、利用率も高い一方で施設の老朽化が目立ち始め、利用者からは、改善を求められている事案がある。（施設の大規模改修により利用者の満足度の向上などが見込めるか）
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 近隣地域に同様の施設がなく、事業の休止・廃止は市民の生涯学習活動やコミュニティ活動に支障がでる。また、岩瀬中央公民館も閉館となり新たな複合施設ができるまでの間、活動できる施設が近辺に無い。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性が有りますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 各地域の中の施設施設として、それぞれの事業を展開している事から、難しいと思われる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 本施設の位置づけと、新施設の運営方によっては人件費や光熱水費、消耗品費などは削減できるかもしれない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担ということで、使用料も徴収しているが、市内の同様施設に比べ利用料が低めになっていることから、必ずしも公平・公正とは言えない。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 現在は一時できに中央公民館の代替施設ということもあって、利用件数や人員が増えてきているが、新施設の利用が開始されると、その状況がどう変化するのは見通せない。ただ本施設は地域コミュニティ活動の拠点でもあり、利用者の利便性向上の為に、早い時期の大規模な改修が望まれる。																						
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 施設の大規模改修にあたっては、補助金などは見込めないと思われ、単独費事業になるので、その配分について優先的に考えてもらう必要があるか。（ただ事業費としては4～5千万円で済むか） 利用料金については、市内の同様施設や新施設との間で基本料金や割引などについて、統一的な考え方を以って設定すべきだと思われる。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
成果	向上	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		⑦																						
成果優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認